

一般社団法人 GOLD 日本委員会

2015 年度

事業報告書

計算書類

監査報告書

自 2015 年 4 月 1 日

至 2016 年 3 月 31 日

# 事業報告書

2016年5月30日

一般社団法人 GOLD 日本委員会

## 2015年度\*事業報告書

(\*2015年4月1日～2016年3月31日)

### I.法人の状況に関する重要な事項（事業の経過及びその成果）

#### 1. 認知度把握調査事業

##### 1-1. COPD認知度把握調査

概要： 健康日本21（第二次）の指標として取り上げられたGOLD日本委員会の調査と同じ方法論で、認知度の推移を調べた。

実施時期： 2015年12月1日～3日

内容： 全国 10,000 人の成人男女を対象としたインターネット調査

実施概要：

	予備調査	本調査
方法	インターネット調査	
調査期間	2015.12.1-2	2015.12.2-3
調査対象	マクロミル社調査パネルの中から性（男・女）、年代（20代・30代・40代・50代・60歳以上）別に1,000人ずつを均等ランダム抽出した10,000人	予備調査でCOPDが「どんな病気かよく知っている」と回答した人の中から性（男・女）、年代（20代・30代・40代・50代・60歳以上）別に11人ずつを均等ランダム抽出した110人
調査内容	Q1. あなたは COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気を知っていますか？ Q2. あなたは「肺年齢」の検査について知っていますか？ Q3. 「COPD の早期発見に肺年齢の検査が有効である」と言われていることを知っていますか？	Q1. COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？ Q2. どのような経路で COPD について知りましたか？ Q3. COPD の原因の 90%以上は喫煙であることを知っていますか？ Q4. 喫煙経験のある 40 歳以上の 8 人に 1 人は、COPD の可能性があることを知っていますか？ Q5. COPD の主な症状は慢性的な咳と痰（たん）、息切れであることを知っていますか？

- 結果： ① COPD の認知度は 27.3%で、2014 年の 30.1%から 2.8 ポイント低下した。
- ② 2009 年から 2010 年にかけての 3 回の調査では、COPD の認知度は 17%台で変化がみられなかったが、2011 年には 25.2%、2012 年には 28.1%、2013 年には 30.5%と順調に上昇した。しかし、この 2013 年をピークに認知度は低下に転じた。
- ③ 「COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気について知ったのはいつですか？」という質問に対して最も多かった回答は「3 年以上前」だった（61 人、55.5%）。最近 1 年の間に COPD を知った人は合わせて 19 人（17.3%）で、2014 年（21.8%、24/110 人）よりおよそ 2 割減少した。
- ④ COPD 認知経路の第 1 位は「テレビ」56 人、「医師や医療関係者から聞いて」

38人、「新聞」26人の順だった。2014年と比べて主に「医師や医療関係者から聞いて」「インターネット」が減少し、「講演会やイベントで」が増加した。「講演会やイベントで」は、2014年の6人から、2倍の12人に増加している。

プレスリリース配信状況：

① 配信日：

2015年12月17日（木）

② 配信方法：

本町記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブへの持ち込みおよびインターネットプレスリリース配信サービスの AEROPRES、内外総合通信社を通じて配信。

③ プレスリリース本文：

附属明細書の P.10～14 に記載。

メディア掲載状況：

メディア掲載数：1件

## 2. 啓発事業

### 2-1. ホームページによる情報発信

概要： ・ 年間を通じてホームページ（www.gold-jac.jp）で COPD の疾患情報、統計情報等を発信し、また、各地で行われるイベント情報の発信を行った。  
・ イベント情報の発信を充実させるため、イベント登録を促進した。  
・ 新しい GOLD ガイドラインの改訂のポイントに関するコンテンツを追加する（日本語版）ことを計画していたが、本年度は実施されなかった。

結果： 2015年度アクセス数：

アクセス数： 408,360PV ユニークユーザー数\*： 212,849UU

\*月次ユニークユーザー数の累計。月ごとで重複あり。

### 2-2. 日本 COPD サミットの共催

概要： 2014年度に特別共催事業として実施し、今後、各関係団体の持ち回りで毎年世界 COPD デー前後に継続して開催することとなったメディアフォーラム、「日本 COPD サミット」を一般社団法人日本呼吸器学会、公益財団法人日本呼吸器財団とともに開催した。

目的： 健康日本 21（第二次）に「COPD」が掲げられ、啓発活動の活性化に期待が持たれる中、各団体がタッグを組むことでよりインパクトある啓発活動に繋げ、各メディア・自治体・医療関係者・一般市民へのノイズを高める後押しとする。

主催： 一般社団法人 GOLD 日本委員会／一般社団法人日本呼吸器学会／公益財団法人日本呼吸器財団

共催： 公益社団法人日本医師会／日本 COPD 対策推進会議／公益財団法人結核予防会／一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本呼吸器疾患患

者団体連合会／慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟／一般社団法人 COPD 啓発プロジェクト

日 時： 2015年11月5日（木） 13時30分～16時00分

会 場： 日本医師会館（東京都）

タイトル： 2015年度日本 COPD サミット「肺の生活習慣病—COPD は全身におよぶ病気です—」

対 象： 全国紙科学部、医療部、文化部・生活部の健康・医療担当、医薬・医療療専門紙誌、TV 科学・医療担当など

集 客： 対象メディア 266 名へ郵送で案内

プログラム： 附属明細書の P.19 に記載

内容・結果： ① メディア関連出席者数：

メディア 18 名

② メディア掲載数：

5 件（2015 年 12 月末日現在）

### 2-3. 関連学会へのブース出展

概要・目的： 医療従事者に対する当法人の活動の啓発および正会員の募集を目的に関連学会でのブース出展を行った。

日 時： ① 第 55 回日本呼吸器学会学術講演会

会 場： 東京都・東京国際フォーラム

開催期間： 2015 年 4 月 17 日～19 日

② 第 25 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

会 場： 千葉県・東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート

開催期間： 2015 年 10 月 15 日～16 日

出展内容： 資料配布・啓発パネル展示

結 果： 正会員の入会申込み

① 2 名

② 4 名

## 3. 啓発支援事業

### 3-1. GOLD 日本委員会オリジナル啓発資料等の案内・提供

概 要： 健康日本 21（第二次）の指針にしたがって啓発活動に取り組む自治体や団体を支援するため、啓発活動のノウハウや資料を案内・提供した。

実施時期： 2015 年 4 月～2016 年 3 月

内容・結果： ① メールマガジンの配信：

COPD 講習会参加者（行政健康政策担当者など）、2012 年度に実施した「COPD 啓発活動についてのアンケート」に回答し、メールアドレスを登録した自治体担当者・病院関係者・健康組合担当者等（280 名）および自治体

健康政策担当者向け COPD 講習会でメールアドレスを登録した受講者（40名）に対し、支援のメールマガジンを配信した。

- ・ 配信件数： 320 件
- ・ 配信時期： 2015 年 9 月 1 日（火）

② 啓発ツールの作成および提供：

啓発資材を希望する自治体にはホームページ上で啓発活動の登録を行うことを条件に、以下の啓発資材を提供する。自治体以外にも医療機関、健康保険組合、患者団体などに限り資材提供した。

- ・ 有償で提供した啓発ツール

提供方法： ホームページでイベント・プラン登録後に遷延する啓発ツール申し込みフォームから注文を受け付け、宅急便等で発送

申込件数： 21 件

提供資材	2015 年度 作成数	実費	送料	2015 年度 提供数
小冊子「肺の病気 COPD ってなんだろう」	2 万部	10 円 / 冊	実費	6,905 冊
GOLD リボン ピンバッジ	0 個	100 円 / 個	実費	70 個
GOLD リボン 応援団ステッカー	法人設立前に 作成	5 シートまで 無償	実費	40 シート
COPD 集団 スクリーニング 質問票 (COPD-PS)	ディスカバリー COPD 研究会 からの支給	無償	実費	230 冊

- ・ 無償で提供した啓発ツール

提供方法： イベント・プラン登録者に自動配信メールでダウンロードページを案内

提供資材	仕様
世界 COPD デーポスター	PDF データ 2 種
勉強会用パワーポイント	Microsoft PowerPoint データ
ポスター・チラシテンプレート	Microsoft Word データ各 2 種
肺年齢チェック体験説明書（検査質問票）	PDF データ
GOLD リボン応援団印刷データ	Adobe Illustrator および PDF データ 2 種
COPD 集団スクリーニング質問票 (COPD-PS)	PDF データ

③ 啓発活動の登録数： 30 件

### 3-2. 自治体担当者向け COPD 講習会の実施

概要： 2014年度から重点事業として位置付け継続。当法人の本予算に計上し、運営を行い、2015年度は独立行政法人環境再生保全機構との共催で、兵庫県と岡山県の2会場でCOPDの予防等に関する講習会を開催した。

対象： 地方公共団体の職員（政策担当者、保健師、看護師等、医療機関等に勤務するコメディカルスタッフ）

開催概要：

会場	兵庫会場	岡山会場
開催期間	2016年2月23日	2016年2月24日
時間	13：30～16：50 スパイロメーター実習体験 1回目13：00～13：30 2回目16：20～16：50	
会場	神戸三宮REIホテル	アークホテル岡山
タイトル	COPDの予防等に関する講習会	
テーマ	「地域で取り組むCOPD対策」～認知度向上と早期発見を目指して～	
対象	地方公共団体の職員（政策担当者、保健師、看護師等、医療機関等に勤務するコメディカルスタッフ）	
主催	独立行政法人環境再生保全機構、一般社団法人GOLD日本委員会	
後援	環境省、厚生労働省 兵庫県、神戸市、尼崎市、西宮市、 芦屋市	環境省、厚生労働省 岡山県、倉敷市、玉野市、備前市

プログラム： 附属明細書のP.49に記載

結果： 参加人数： 兵庫会場 54名（スパイロ体験参加人数 16名）  
岡山会場 56名（スパイロ体験参加人数 21名）

両会場とも、「参加して役立つ情報や新たな知識が得られましたか。」という質問に対し、「得られた」と回答した人は、兵庫会場が71%、岡山会場が86%と高い評価を得られた。また、「本講習会をヒントに今後 COPD 啓発事業を前向きに検討しようと思いましたが？」という質問に対し「思った」と回答した人は、両会場とも57%で、今後の具体的な啓発活動として、地域での講習会やスパイロ検査の実施、健診への組み込みなどの検討があげられた。

また、「COPD 認知度向上に向けて、GOLD 日本委員会に期待することがあれば教えてください。」という質問に対し、下記の回答があった。

- ・指導者向け講習会 最新知識の発信
- ・喫煙者個人ではなく、日本たばこ産業（JT）への組織的啓発の強化、マスコミを使った啓発
- ・テレビCM等で、全国的な広報活動をしてほしい
- ・自治体ごとに認知度を上げるという方法論は効率が悪いし自治体の負担が大きいわりに outcome が得られないと思います
- ・このような研修会、パンフレットなどの無料配布、スパイロ検査の出張
- ・10代（中学生・高校生）への講演（喫煙を未然に防ぐ）

その他の活動：港区 COPD 講演会の後援

概要： 以前 COPD 講習会に参加した東京都港区みなと保健所からの要請で、みなと保健所が主催する一般向け啓発イベントをモデルケースとして後援し、協力した。

開催概要：

会場	港区みなと保健所8階 〒108-8315 東京都港区三田一丁目4番10号
開催日時	2015年7月7日（火） 14：00～16：00
タイトル	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の基礎知識～自分の肺年齢を知ろう！～
主催	港区
後援	一般社団法人GOLD日本委員会

結 果： 参加人数 16 名

- ・参加理由として 42.3%の人から「テーマに関心があった」と回答があった。
- ・講座の満足度、理解度は、66.7%の人から「(満足度・理解度が) 8割以上」との回答があった。
- ・時間配分がちょうどよかったとの声がある一方、もう少し時間がほしかったという意見もみられた。家族が慢性閉塞性肺疾患（COPD）を罹患しており、講師から良いアドバイスがもらえてよかった、わかりやすかったとの感想が記載されており、好評だった。

#### 4. 調査研究事業

##### 4-1. COPD 早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施

概 要： 当法人の事業目的の一つである「COPDの併存症に関する疫学調査」に関連する多施設の研究を促進する。2014年度には研究実施計画を策定し、各実施施設でデータ入力等を進めてきた。2015年度には引き続き研究を推進した。

実施時期： 2015年4月～2016年3月

テ ー マ： 「睡眠呼吸障害（SDB）とCOPD –疫学と病態に関する後ろ向き研究」

分担研究者： 順天堂大学医学部附属順天堂医院 呼吸器内科 塩田 智美 先生

東京大学医学部附属病院 老年病科 山口 泰弘 先生

日本医科大学呼吸ケアクリニック 呼吸器内科学 石井 健男 先生

東北大学大学院医学系研究科 産業医学分野／呼吸器内科 小川 浩正 先生

結 果： ・研究実施計画を策定し、各実施施設でデータ入力等を進めた。

#### 5. その他：厚生労働省公募への応募の検討

##### 5-1. 地域健康増進促進事業への応募の検討

内 容： 厚生労働省が公募する「地域健康増進促進事業」への応募を検討した。

目 的： 当法人が事業内容に掲げる「日本国内におけるCOPDに関するイベントの普及支援」の一層の推進。

公募年度： 2014年度、2015年度、2016年度の3か年の公募予定

結 果： 今年度の応募は見送った。

##### 5-2. 厚生労働科学研究における戦略研究への応募の検討

内 容： 厚生労働省が公募する「厚生労働科学研究における戦略研究」への応募を検討した。



## II.業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

### 1. 役員等に関する事項

役職	氏名	常勤/ 非常勤	就任年月日	報酬	担当職務	現職名
理事	福地 義之助	非常勤	2012.10.09	無	代表理事	順天堂大学名誉教授
理事	一ノ瀬 正和	非常勤	2012.10.09	無		東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野教授
理事	今村 聡	非常勤	2014.6.27	無		公益社団法人日本医師会副会長
理事	植木 純	非常勤	2012.10.09	無		順天堂大学医療看護学部専門基礎内科学教授
理事	木田 厚瑞	非常勤	2012.10.09	無		日本医科大学特任教授
理事	瀬山 邦明	非常勤	2012.10.09	無	事務局長	順天堂大学医学部呼吸器内科准教授
理事	永井 厚志	非常勤	2012.10.09	無		東京女子医科大学名誉教授
理事	長瀬 隆英	非常勤	2012.10.09	無	業務執行 理事	東京大学医学部呼吸器内科教授
理事	西村 正治	非常勤	2012.10.09	無		北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野教授
理事	三嶋 理晃	非常勤	2012.10.09	無		京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学教授
監事	工藤 翔二	非常勤	2012.10.09	無		公益財団法人結核予防会理事長

### 2. 事務局業務に関する事項

昨年度に引き続き、会計事務を含む事務局業務を外部業者である株式会社エム・シー・アンド・ピーに委託した。

委託先： 〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目1番7号 NBF 日比谷ビル 19階

株式会社エム・シー・アンド・ピー

TEL： 03-3597-0175 FAX： 03-3597-0177

### 3. 会議等に関する事項

会議名 開催年月日	議事事項
第1回通常理事会 2015.6.1	<p><b>【議案審議】</b></p> <p>第1号議案：2014年度事業報告承認・決算承認・監査報告</p> <p>1.2014年度の事業報告書および決算報告書について事務局より説明が行われ、承認された。事業報告を受け、以下の各事業について役員からの意見が述べられた。</p> <p>①啓発支援事業 2-2. 自治体担当者向け COPD 講習会の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今村理事より、地域の医師会から自治体担当部署に働きかけ、COPD 講習会の実施ができないか、検討課題として挙げられた。</li> <li>・自治体や患者会が実施する講演会にて、全体（全国）でどのくらいの呼吸器専門医への講師依頼があるのか、マクロの視点で捉えられればという提案が木田理事よりあった。</li> </ul> <p>②認知度把握調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年のCOPD認知度（30.1%）が前年（30.5%）から上がらなかったことが問題として挙げられた。一方で、60歳以上では順調に認知度が上昇していることが報告された。</li> <li>・調査方法の違いはあるものの、2015年1月の厚生科研の調査研究ではCOPD認知度が50%以上という報告があったということが木田理事より報告された。</li> </ul> <p>③調査研究事業 4-1. 「COPDの併存症に関する疫学調査」の論文投稿について</p> <p>瀬山事務局長より投稿状況についての最新情報がアップデートされた。 投稿済みのLungに関してはリジェクトとなったが、BMC Pulmonary Medicineに投稿し、現在査読中。</p> <p>2.工藤監事より、業務および経費内容が妥当であるとの監査結果が報告された。</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>1.2015年度活動進捗報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①日本COPDサミットの共催について</li> <li>②関連学会へのブース出展について</li> <li>③啓発小冊子改訂増刷について</li> <li>④自治体担当者向けCOPD講習会について</li> <li>⑤COPD早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施について</li> </ul> <p>2.2015年度の収支中間報告が行われた。</p>
定時社員総会 2015.6.25	<p><b>【報告事項】</b></p> <p>1.2014年度事業報告及び計算書類報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年度の事業報告書、計算書類、監査報告書について事務局より報告があった。</li> <li>・議長が社員に質問を求めたが議場からの質疑はなく、満場一致をもって了承を得た。</li> </ul> <p>2.2015年度事業計画及び収支予算報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度の事業計画書について事務局より報告があった。</li> <li>・進捗中の事業について事務局より新たな報告がなされた。</li> <li>①日本COPDサミットの共催について</li> <li>②自治体担当者向けCOPD講習会について</li> <li>③厚生労働省公募への応募の検討について</li> <li>④2015年度収支予算の中間報告が行われた。</li> </ul> <p>議長が質疑応答を行い、社員の了承を得た。</p>

<p>第2回通常理事会 2016.3.22</p>	<p><b>【報告事項】</b>  2015年度の事業活動について事務局より報告があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 啓発事業： <ol style="list-style-type: none"> <li>①ホームページによる情報発信について（アクセス数）</li> <li>②日本 COPD サミットの共催について（概要、実施状況、結果）</li> <li>③関連学会へのブース出展について（概要、実施状況、結果）</li> </ol> </li> <li>2. 啓発支援事業： <ol style="list-style-type: none"> <li>①自治体の啓発活動支援について（啓発ツールの作成・提供、ツール申し込みと啓発活動の登録状況、支援のメールマガジン配信について）</li> <li>②自治体担当者向け COPD 講演会の実施について（概要、実施状況、アンケート結果の報告について）</li> </ol> </li> <li>3. 認知度把握調査事業について（2015年12月の認知率が27.3%だったこと、リリース結果）</li> <li>4. 調査研究事業： <ol style="list-style-type: none"> <li>① COPD 早期診断につながる疫学研究プロジェクトの実施について（2016年の第56回日本呼吸器学会学術講演会の一般演題に応募したこと）</li> <li>② 2014年度までの調査研究事業について（投稿した論文がアクセプトされたこと）</li> </ol> </li> <li>5. その他の活動： <ol style="list-style-type: none"> <li>①後援名義等の使用承認</li> </ol> </li> </ol> <p>2015年度予算の収支予算（通期見込み）の報告が行われた。  賛助会員の退会報告が行われた。  2015年度の事業活動および収支予算（通期見込み）の報告を受け、以下の点について討論がなされた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知度把握調査事業について（認知度が低下したことについての対応策）</li> </ol> <p><b>【議案審議】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1号議案 2016年度事業計画  2016年度事業計画案が一部改定の上、承認された。  日本 COPD サミットについて、参加対象者としてメディア関係者に医療関係者が加わり、幅広い層の参加が見込めることについて議論された。</li> <li>2. 第2号議案 2016年度収支予算  2016年度収支予算案が原案通り承認された。また、年会費の徴収方法について検討された。</li> </ol> <p><b>【その他】</b>  2016年度定時社員総会における理事選任に向けて、奈良県立医科大学内科学第二講座教授 木村弘先生と日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野教授 橋本修先生が新理事候補として挙げられ、2016年度第1回通常理事会で推薦することとなった。</p>
-------------------------------	---

以上

# 計 算 書 類

**貸借対照表**  
(平成28年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	1,072,553	買掛金	1,776,402
売掛金	3,240	未払金	2,160
		未払法人税等	70,000
		預り金	17,055
貯蔵品	426,348	負債合計	1,865,617
		(正味財産の部)	
		一般正味財産	-363,476
		正味財産合計	-363,476
資産合計	1,502,141	負債・正味財産合計	1,502,141

# 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
特別賛助会費	9,000,000	9,500,000	-500,000
賛助会費	300,000	400,000	-100,000
一般会費	56,000	42,000	14,000
② 事業活動収入			0
共催負担金	2,200,000	7,252,219	-5,052,219
寄付金	1,330,000	1,540,000	-210,000
物品販売収入	114,612	91,068	23,544
② 雑収益			0
受取利息	864	892	-28
経常収益計	13,001,476	18,826,179	-5,824,703
(2) 経常費用			
① 事業費			
会場費			0
イベント運営費	4,408,887	4,172,284	236,603
検査技師手数料			0
啓発支援事業費	1,933,422	8,636,652	-6,703,230
論文投稿費		385,560	-385,560
調査費用	313,200	313,200	0
ホームページシステム改修費	162,000	12,420	149,580
旅費交通費			0
物品販売等事業費	107,962	115,122	-7,160
② 管理費			0
設立準備諸経費			0
運営費	4,536,000	4,536,000	0
通信費	94,232	120,896	-26,664
旅費交通費	999,392	831,416	167,976
会議費	350,214	267,411	82,803
会計決算費用	28,080	442,180	-414,100
租税公課	70,152	70,179	-27
雑費	46,006	86,184	-40,178
経常費用計	13,049,547	19,989,504	-6,939,957
当期経常増減額	-48,071	-1,163,325	1,115,254
当期一般正味財産増減額	-48,071	-1,163,325	1,115,254
一般正味財産期首残高	-315,405	847,920	-1,163,325
一般正味財産期末残高	-363,476	-315,405	-48,071

## 財務諸表に対する注記

### (1) 重要な会計方針

#### ① 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込処理を採用しています。

### (2) 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

**財産目録**  
平成28年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	普通預金 三井住友銀行 神保町支店	手元保管	1,177
			運転資金として	834,641
		当座預金 ゆうちょ銀行 0一九店	運転資金として	236,735
		預金合計		1,071,376
	売掛金	滋賀医大 呼吸器内科 請求	COPD啓発ツール代金・送料	3,240
	貯蔵品	99.66円/個×2,512個	GOLDピンバッチ	250,345
	貯蔵品	14.553円/冊×12,094冊	「COPDってなんだろう」小冊子	176,003
	貯蔵品合計		426,348	
流動資産合計				1,502,141
資産合計				1,502,141
(流動負債)	買掛金 未払金		事業費・管理費費用の掛金額	1,776,402
			管理費に係る費用の未払い	2,160
	買掛未払合計		1,778,562	
	未払法人税等	東京都 法人都民税均等割		70,000
	預り金	西村正治先生他	報酬源泉所得税	17,055
流動負債合計				1,865,617
負債合計				1,865,617
正味財産合計				-363,476



一般社団法人GOLD日本委員会  
2015年度経費収支決算報告書

2015年4月1日～2016年3月31日

一般会計

(単位:円)

科目	2015年度 予算額①	2015年度 実績②	予算との差額③	備考
<b>【収入の部】</b>				
特別賛助会費収入	10,000,000	9,000,000	-1,000,000	
賛助会費収入	400,000	300,000	-100,000	
会費収入	48,000	56,000	8,000	82人×2,000円
寄付金収入	1,500,000	1,330,000	-170,000	
寄付金	0	0	0	
COPD講習会	1,000,000	0	-1,000,000	
日本COPDサミット	500,000	1,330,000	830,000	日本COPDサミット実施予算①企業からの寄付金 計133万円
共催負担金	3,000,000	2,200,000	-800,000	
COPD講習会	0	0	0	
日本COPDサミット	3,000,000	2,200,000	-800,000	日本COPDサミット実施予算②共催負担金 JRF100万円、JRS120万円
事業活動収入	90,000	114,612	24,612	自治体の啓発活動支援事業
受取利息	713	864	151	
当期収入合計(A)	15,038,713	13,001,476	-2,037,237	
前期繰越収支差額	-1,725,562	-1,670,304	55,258	
収入合計(B)	13,313,151	11,331,172	-1,981,979	
<b>【支出の部】</b>				
運営費	6,088,080	6,124,076	35,996	
事務局委託費	4,536,000	4,536,000	0	月額378,000円
会計・決算費用	352,080	28,080	-324,000	税理士費用・弥生会計契約更新 ※2014年度決算費用は2014年度の予算から支払ったが 2015年度決算費用は請求時点の2016年度の予算から支払う
会議費	300,000	350,214	50,214	理事会2回、社員総会1回、調査研究MTG会議費含む
旅費交通費	600,000	999,392	399,392	COPD講習会実施予算①会議費90,450円含む 日本COPDサミット開催費①三郷市生交費37,380円含む
通信費	130,000	94,232	-35,768	COPD講習会実施予算②旅費交通宿泊費276,440円含む
振込手数料	46,000	45,576	-424	EBサービス手数料(月額2,160円)含む
地方税(均等割)等	70,000	70,152	152	
雑費	54,000	430	-53,570	文具、消耗品等
法人登記費用	0	0	0	役員変更手続き用 行政書士費用、印鑑証明書・履歴事項全部証明書費用
事業活動費	7,163,200	5,996,920	-1,166,280	
1. 啓発事業費	4,400,000	4,288,780	-111,220	
ホームページメンテナンス	100,000	162,000	62,000	ホームページメンテナンス費、サーバー利用料(月額10,800円) SSL証明書・ドメイン更新料(年額32,400円)
日本COPDサミット	4,000,000	4,097,620	97,620	日本COPDサミット実施予算③GOLD 120万円 実施予算①～③合計473万円 (企業寄付金は、昨年度実績の80万円を開催費として充当し、差額73万円はサミットの記録用DVD制作費として充当し、関係者へ配布する) 日本COPDサミット開催費②サミット運営費3,982,620円 日本COPDサミット開催費③記録用DVD135,000円 開催費②+③合計4,097,620円+開催費①=4,135,000円 実施予算①～③合計473万円+開催費①～③合計4,135,000円 =595,000円は、来期サミットDVD制作予算に計上
関連学会ブース出展	300,000	29,160	-270,840	日本呼吸器学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
2. 啓発支援事業費	2,050,000	1,112,833	-937,167	
啓発資料等の案内・提供 (自治体の啓発活動支援)	550,000	640,116	90,116	小冊子改訂増刷、ピンバッチ作成、啓発ツール保管・発送費 ※ 2015年度ピンバッチ作成なし・小冊子2万部に減
自治体担当者向けCOPD講習会	1,500,000	410,185	-1,089,815	COPD講習会準備、運営(2会場) COPD講習会実施予算②謝礼金410,185円 COPD講習会実施予算①～③合計717,081円
その他	0	62,532	62,532	港区COPD講習会スバイロ消耗品
3. 認知度把握調査事業費	313,200	313,200	0	
インターネット調査	313,200	313,200	0	
4. 調査研究事業費	200,000	282,107	82,107	
疫学研究プロジェクト実施	200,000	282,107	82,107	
論文投稿	0	0	0	
5. その他:厚生労働省公募への応募の検討	200,000	0	-200,000	
準備費	200,000	0	-200,000	今年度の公募は締め切り
当期支出合計(C)	13,251,280	12,120,996	-1,130,284	
当期収支差額(A)-(C)	1,787,433	880,480	-906,953	
次期繰越収支差額(B)-(C)	61,871	-789,824	-851,695	

# 監查報告書

# 監査報告書

平成 28 年 5 月 30 日

一般社団法人 GOLD 日本委員会

代表理事 福地 義之助

一般社団法人 GOLD 日本委員会

監事 工藤 翔二 ⑩

私たちは平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの平成 27 年度における一般社団法人 GOLD 日本委員会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

## 1. 監査の方法概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

## 2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、法人の財政状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上